

# 龍雲寺 花園会報

二〇二三年お盆号

監修 細川 景一 編集 細川要子

○妙心寺 URL <http://myoshin.com/>

○龍雲寺 URL <http://home.catv.ne.jp/rr/ryuunji/>

〒一五四〇〇〇三三

東京都世田谷区野沢三―三八―一

TEL 〇三―三四二一―〇二三八

FAX 〇三―三四一八―九八六三

「人生七十古来稀なり」

住職 細川 景一

中国唐代の詩人、杜甫の津詩「曲江」の一首の中に

朝より回って日々に春衣を典し

毎日江頭に酔を尽くして帰る

酒債尋常行く処に有り

人生七十 古来稀なり

とあります。毎日朝廷から帰れば、春の着物を質におき、曲江のほとりの酒店で酔いしれて、家に帰る。酒手の借金など行く先々にあるが気にもとめない。思えば人生はそうながくない。昔から七十まで生きる人は稀なのだ。小納も今年七十三を迎えました。現在では珍しくないけれど、ここまで元気でいられた事は喜びです。江戸時代の儒学者佐藤一斎の言葉にあります。「老いて学ばば、死して朽ちず」。何も死んで名を残したいというわけではないでしょうが、老いても何か学ぼうとする意欲のある人は、年齢を感じさせない若さと尊さがあります。こういう元氣な方々を見ていると若い者は発奮しないわけには参りません。「古稀」と言う言葉も忘れます。「老いては学べば、死して朽ちず」いつまでも学ぶ心は失いたくないものです。因みに、杜甫は長い

流浪の末に湘江に浮かべた舟の中で貧窮と肺疾の為に五十九才で亡くなりました。

さて予ねてお話をさせて頂いておりました通り今年十一月二日に住職交代の「晋山式」を挙行させて頂きます。新しい住職が寺院に入って法務をつぐという意味です。龍雲寺は今から三百十四年ほど前に盤珪国師の法嗣（はつすゝ）法を嗣いだ弟子）の節外和尚によつて建立、以来小納が十一世であり、新命、晋輔和尚は第十二世となります。晋山式という大切でめでたい儀式にめぐりあうのは一生に一度です。多くの関係の和尚様や檀信徒の皆様をお招きして厳粛にして盛大に新住職の就任をお祝いする事になっていきます。小納も四十年前の晋山式の思い出が僧侶としての一生の励みとなりました。新命和尚も必ずや皆様のご法情が一生の励みとなると思います。

## 孟蘭盆会法要

平成二十五年七月一七日(水)於・龍雲寺本堂

十一時 御詠歌奉詠

十一時 三十分 法話

正午 法要

※お食事を用意していません。皆様おそろいでお参り下さい。申し込み不要。

## 行事予定

七月 六日(土) 七夕飾り

十三日(土) 〓十五日(月) お盆棚経

十七日(水) 施餓鬼会

八月 二日(金) 〓四日(日)

龍雲寺盆踊り大会

(於・環七駐車場)

十五日(木) 〓十七日(土)

第八次妙心寺お精霊送りと

五山の送り火の旅

九月二十三日(月) 彼岸会

十月 八日(火) 〓十一日(金)

第七次四国八十八ヶ所巡拝④

十九日(土) 第十回天満敦子ヴァイオ

リンコンサート(於・本堂)

二十二日(火) 〓二十四日(木)

全国奉詠大会

十一月 二日(土) 晋山式

二十五日(月) 〓二十八日(木)

第三次西国三十三観音巡礼④

十二月 中旬 龍雲寺子ども会餅つき大会

三十一日(火) 除夜の鐘

一月 七日(火) 大般若会

## ◆第一三三三回 三峰・榛名講

龍雲寺では、毎年この時期に三峰・榛名講という大切な行事があります。講というのは、同じ仏神を祀り、または参詣する同業者の事を意味します。龍雲寺の講は、今回で一三三三回目を迎えました。この回数に記録に残っている数字であり、実際は江戸時代から行われていたと言われています。農村であった世田谷野沢にとつて、「雨乞い」というのは大変重要なものであり、毎年「あみだくじ」で代表者を選び、村を代表してお参りに行くというものでした。私も去年から参加させて頂いておりましたが、父をはじめ毎年欠かさず何十年も参加下さる方の熟知ぶりには驚かされます。このように肅々と神社をお参りするというのは、理屈ではなく、とても清々しいものです。それは、私たちが畳の部屋にいと落ち着き、癒やされると感じるのと同じではないでしょうか？日本人としての心がそうさせると思います。お寺の団体が神社をお参りする・海外の宗教者がご覧になったら驚かれるかもしれませんが、これが日本のいいところだと思います。クリスマスを祝って、除夜の鐘をお寺でついて、神社に初詣に行く・こんなことおかしいと否定するよりも、日本人の柔軟な思想がもたらす文化は素晴らしい！と考えた方がいいかもしれませんね。

晋輔

## ◆看板が新しくなりました

環状七号線沿いの龍雲寺駐車場に新しく看板をご寄付頂きました。私自身、前の花園大学の看板がはずされてから、とても寂しく思っておりまして。そこで「禅」について何かインパクトのある看板を作ることができたらとずっと考えていたところ、幸運にも目黒区の金子様にご寄付下さり、「禅」や「お寺」の看板にしては少し（少しかどうかわかりませんが）派手ではないか？

というご指摘も頂きましたが、地味な看板など何の意味も有りません。この看板を見て頂いた人の中から、一人でも「禅」に興味を持って下さる方がいらつしやれば幸いという気持ちで考えた次第です。

ここで、看板の説明をさせていただきます。この看板の真ん中にある龍、こちらは龍雲寺の本山、京都・妙心寺の天井画、「雲龍図」を使用させて頂きました。作者は狩野探幽という江戸時代の狩野派の絵師です。これは、狩野探幽が五五歳の時、約八年の歳月を要して描きあげたとされています。例えば、日光東照宮の「雲龍図」も、同じく探幽若き日の作品であります。しかし、莫大な報酬を得た東照宮とは違い、妙心寺はタダ同然（お酒）で描かれたという伝説も残されています。晩年に近づくにつれて、探幽の気持ちの変化が伺えます。直径は十二メートルあり、龍の目は

円相の中心に描かれています。見る人の立つ位置、見上げる角度によって、龍の表現が変化することから、「八方にらみの龍」と云われ、国の重要文化財でございます。古来より龍は、火事から寺院を護る神聖なものとして、崇められており、よく寺院の天井画に用いられているそうです。龍というものは、勿論実在しませんので、蛇やナマズ、鹿などのそれぞれの部位をモチーフに描かれたという



話です。京都・京都で、あの閑静な妙心寺法堂の中でこの龍を見上げるとても素晴らしい経験になると思いますので京都へのご旅行の際はぜひ妙心寺のお立ち寄り下さいませ。

晋輔

## 募集中

### ◆花園会 禅・仏教講座のご案内

花園大学の先生方による、禅と仏教についての講座です。

七月 二十八日(日) 横山 紘一 師

山川 宗玄 老師

十一月 十六日(土) 西村 恵信 師

白隠禅師と弟子の東嶺さんに縁のあるお寺

中尾 良信 師

永平寺―道元が目ざした生活―

☆会費 一〇〇〇円(当日集金)

☆時間 午後二時～五時

☆お問い合わせは龍雲寺まで

### ◆世相教会花園流御詠歌会員募集

毎月一回 須藤芳順先生のご指導

九月 六日(金)・十月 四日(金)

十一月二十六日(火)・十二月二十五日(月)

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かつぼれ・ヨーガ等があります。

### ◆第八回妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(木)～十七日(土) 二泊三日  
会費七万二千元(納経料別途)

龍雲寺集合・解散 新幹線の駅・現地集合可。妙心寺での団体参拝・お精霊送り、花園会館の屋上から送り火を拝めるので疲れません。ツイン・ベッドでバストイレ付、シングル・ルームや和室・大浴場も有り、川床料理や精進料理・朝粥・おやつもご用意。写仏・写経・お数珠・匂い袋・友禅染めのTシャツ作り等暑い京都を涼しく、楽しい事を考えています。紙面では公表できない特別拝観あり。お子様料金もありません。皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。※定員になり次第切めますのでお早めに。お一人でも、ご高齢の方も楽な旅です。大丈夫です。

### ◆早朝洗心坐禅会(申込不要)

毎週日曜日 朝六時半～八時半

会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。

### ◆写経会(申込不要)

毎月第二土曜日 一時～四時

(但し、七月、八月はお休み)

納経料は 一巻五〇〇円

来られない方は、お写経をお渡しいたしますの

でご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。  
イス席もご用意しています。

### ◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

A(一五〇×一五〇) 永代使用料一二五万円

B(一五〇×一四〇) 永代使用料一一四万円

A Bとも納骨棺、塔婆立、拝石等の外柵工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

### ◆納骨堂

(お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようにと、いう考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。

いつもお参りの方がいらしています。

### ◆NPO 東日本大震災復興支援

#### 『浜ばっぱのぞうきん』

※龍雲寺にて浜ばっぱのぞうきんを置いてあります。  
一組四〇〇円

## ●お稚児さん募集中

稚児とは寺院の法会に美しく着飾って、行列して練り歩く童子童女のことを言います。古来、稚児の姿になって寺院の行事に参加することは、仏とご縁を結ぶ良き機会と考えられており、子どもの健やかな成長を願う私たちは寺院の行事が行われるたび我が子にお稚児の姿をさせたという話が残っています。現在でも一寺にとつて数十年に一度しかない晋山式・落慶式などは特に仏縁を結ぶ貴重な機会と考えられ稚児行列は儀式の重要な一部となっております。

日時 平成二十五年十一月二日(土) 午前中  
会費 5000円 (貸衣装代含む)  
対象 三才から十才のお子様  
ご不明な点は、お寺までご連絡ください。



## ●盆踊り大会

日時 八月二日(金)～四日(日)  
時間 午後七時～九時・参加自由  
場所 環七龍雲寺駐車場

## ●第十回

## 天満敦子ヴァイオリン・コンサート

日時 十月十九日(土) 午後三時～  
会費 三千五百円(当日集金)  
会場 龍雲寺本堂(椅子席)

三時から整理券配布  
お申し込みはFAX/電話・お葉書で。定員になり次第締め切ります。お抹茶・虎屋さんのお菓子・笹寿司をおご用意。

## 東京禅センターからお知らせ

### ●夏休み!こども坐禅体験!

日時 八月一日(木)二日(金)  
両日とも午後一時～五時まで  
一日だけでも両日参加も可能です  
会費 一日1000円  
会場 禅センター

#### 主な活動内容

- 一日目 坐禅・紙芝居・お香づくり
- 二日目 坐禅・ヨガ体操・写経

詳細・申込用紙などは龍雲寺又は禅センターまで

☎〇三ー五七七九ー三八〇〇

mail: [zen@myoshin-zen-c.jp](mailto:zen@myoshin-zen-c.jp)

## ●昔の龍雲寺の写真を探しています。

この度「野沢と龍雲寺のなりたち(仮)」というものを編集したいと考えておりまして皆様のお宅に、環七時代の龍雲寺、麦畑だった頃の今の龍雲寺境内、住職の晋山式の時の写真などございましたら、是非お寺にお貸し頂きたいと考えております。宜しくお願ひします。

## 編集後記

皆様がいかがお過ごしですか? 龍雲寺は十一月二日の晋山式に向けて準備に追われています。お稚児さん募集中です。稚児行列に参加出来る機会は少ないので、ぜひお申し込み下さい。○盆踊り大会は夜店も出て賑やかで毎年三千人位来られます○バリア・フリーの廊下や車椅子用トイレがある事が広まり車椅子の方々のお参りが増えて嬉しく思います○今年の五山の送り火は高山寺・龍安寺等を考えています。新盆を迎える方には今年の五山の送り火を拝む事は特別な思いがあると思います。皆様ぜひ、ご参加下さい○バラ園は磯貝美代子様が丹精込めて育てて下さっています。毎年沢山の方々が来られます○龍雲寺支部の御詠歌の会員は五十名。私は六月に妙心寺での試験で、とっても緊張しましたが何とか準講師二級に合格しました○住職と新命は京都へ行ったり来たり、書生さん達、太輔一家・娘達は、おかげさ様で皆元気です。暑い日が続きます。お身体を大切になさって下さい。